

平成18年度診療報酬改定影響度調査

報告書

平成18年11月

日本病院団体協議会

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査客体	1
3. 調査内容	1
4. 調査期間	1
5. 調査方法	1
6. 調査票の回収	1
II. データクリーニングと補正	2
1. データクリーニング	2
(1) 病院別データセットの作成	2
(2) データの修正	2
2. データの補正	2
(1) 月次変動・曜日等の補正の考え方	2
(2) 外来収入の補正	2
(3) 入院収入の補正	3
III. 結果	5
1. 調査対象病院の属性	5
(1) 開設主体	5
(2) 病床規模	5
(3) 病院の種類・請求方法	5
2. 病院全体の収入変動について	6
(1) 外来収入	6
(2) 入院収入（一般病床）	8
(3) 入院収入（精神病床）	12
(4) 全体の変動（外来・入院収入合計：一般病床）	14
3. 項目別集計	16
(1) 初診料・再診料等	16
(2) 入院料・各種加算等	18
(3) リハビリテーション料および入院時食事療養費	26
(4) 日病協「平成18年度診療報酬改定要望事項」で評価された主な項目	28
(5) 診療報酬改定による収入減少分に占める各項目の割合	28

I. 調査の概要

1. 調査の目的

平成 18 年 4 月に実施された診療報酬改定結果検証として、当該診療報酬改定が各医療機関の経営収支に与える影響を明らかにすることを目的とした。

2. 調査客体

調査対象は、日本病院団体協議会に加盟する 7,395 病院とした。

3. 調査内容

平成 17 年 3 月、4 月、および平成 18 年 3 月、4 月における、各病院の外来収入、入院収入、各種加算点数等について調査した。

4. 調査期間

平成 18 年 7 月に調査を実施した。

5. 調査方法

調査票を調査客体病院に送付し、自記記入後返送された。

6. 調査票の回収

有効回答は 1,601、有効回答率は 21.6%であった。

II. データクリーニングと補正

1. データクリーニング

(1) 病院別データセットの作成

本調査は各病院団体から依頼し実施しているため、複数の病院団体に加盟している病院からは複数の調査票が提出される可能性がある。そのため、各病院から収集され入力されたデータから、重複を排除したデータセットを作成した。

(2) データの修正

外れ値等の抽出ならびに補正を行った。外れ値については、既存の平均値との比較、今回のデータ平均との比較等から個別に探索した上で、当該機関への問合せを含めて補正した。

2. データの補正

(1) 月次変動・曜日等の補正の考え方

今回収集したデータは、平成17年3月、4月、平成18年3月、4月のデータであるが、それぞれの月において曜日や日数が異なるため、平成17年3月を基準月とし、曜日および日数の補正を実施した。

(2) 外来収入の補正

外来収入データの月次補正にあたっては、「最近の医療費の動向」の休日等が診療収入に与える影響の補正係数を使用した。

図表 1 医療費の伸び率（対前年同月比）に対する休日数等1日当たりの影響補正係数

	総計	保険医療機関								歯科計	保 業 局
		計	医 科 病 院						診 療 所 計		
			大 病 院	学 院	公 病 院	的 法 院	人 病 院	個 人 病 院			
日曜・祭日等	-2.3	-2.1	-1.8	-1.7	-1.8	-1.7	-1.8	-2.7	-3.6	-3.9	
土曜	-1.2	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.1	-1.2	-1.3	-2.1	
閏日	3.3	3.5	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.9	0.2 *	3.6	

出典：「最近の医療費の動向」厚生労働省保険局調査課

注1) 上記の補正係数は、「種類別概算医療費」における補正係数及び医療機関種類別の入院・入院外比率を用いて推計したものである。

注2) *については、補正係数にかかる回帰分析を行った結果、閏日について有意な結果が得られなかったため、日曜・祭日及び土曜については補正を行っているが、閏日については、補正していない。

これより、平成 17 年 3 月を基準月とした場合(各年月が平成 17 年 3 月の曜日構成と同様と仮定した場合)、各月の補正係数は以下の通り。

図表 2 外来収入補正係数

	平成 17 年 3 月	平成 17 年 4 月	平成 18 年 3 月	平成 18 年 4 月
日数	31 日	30 日	31 日	30 日
土/日・祝の日数	4 日/5 日	5 日/5 日	4 日/5 日	4 日/6 日
H17.3 を基準 (=1) とした際の各月の日数割合	1	0.955	1	0.948
H17.3 を基準 (=1) とした際の各月の補正係数	1	1.047120	1	1.054852

(3) 入院収入の補正

入院収入の補正については、東京大学医学部附属病院の日数補正係数を用いた比較を実施した。

平成 17 年 3 月、17 年 4 月、18 年 3 月、18 年 4 月のデータを使用し、休日回数や三連休等を考慮したカレンダーを作成した。次に、各日の患者数を年間平均 1 日患者数 (1,061.421 日) で除し、土日休日を補正し、日当たりの重み付けを作成した。各月の補正済み日数、および平成 17 年 3 月を基準月とした場合(各年月が平成 17 年 3 月の曜日構成と同様と仮定した場合)の補正係数は以下の通りである。

図表 3 入院収入補正係数

	平成 17 年 3 月	平成 17 年 4 月	平成 18 年 3 月	平成 18 年 4 月
補正前	31 日	30 日	31 日	30 日
補正後	31.4308 日	30.4340 日	31.5796 日	30.4340 日
H17.3 を基準 (=1) とした各月の係数	1	1.032753	0.995288	1.032753

図表 4 補正カレンダー

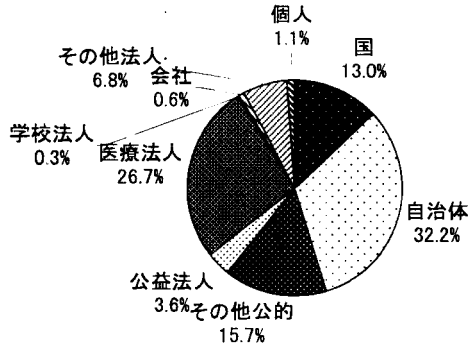
H17. 3				H17. 4				H18. 3				H18. 4			
日	曜日	患者数	補正日数	日	曜日	患者数	補正日数	日	曜日	患者数	補正日数	日	曜日	患者数	補正日数
1	火	1100	1.0364	1	金	1100	1.0364	1	水	1100	1.0364	1	土	1069	1.0071
2	水	1100	1.0364	2	土	1069	1.0071	2	木	1100	1.0364	2	日	1010	0.9516
3	木	1100	1.0364	3	日	1010	0.9516	3	金	1100	1.0364	3	月	1077	1.0147
4	金	1100	1.0364	4	月	1077	1.0147	4	土	1069	1.0071	4	火	1100	1.0364
5	土	1069	1.0071	5	火	1100	1.0364	5	日	1010	0.9516	5	水	1100	1.0364
6	日	1010	0.9516	6	水	1100	1.0364	6	月	1077	1.0147	6	木	1100	1.0364
7	月	1077	1.0147	7	木	1100	1.0364	7	火	1100	1.0364	7	金	1100	1.0364
8	火	1100	1.0364	8	金	1100	1.0364	8	水	1100	1.0364	8	土	1069	1.0071
9	水	1100	1.0364	9	土	1069	1.0071	9	木	1100	1.0364	9	日	1010	0.9516
10	木	1100	1.0364	10	日	1010	0.9516	10	金	1100	1.0364	10	月	1077	1.0147
11	金	1100	1.0364	11	月	1077	1.0147	11	土	1069	1.0071	11	火	1100	1.0364
12	土	1069	1.0071	12	火	1100	1.0364	12	日	1010	0.9516	12	水	1100	1.0364
13	日	1010	0.9516	13	水	1100	1.0364	13	月	1077	1.0147	13	木	1100	1.0364
14	月	1077	1.0147	14	木	1100	1.0364	14	火	1100	1.0364	14	金	1100	1.0364
15	火	1100	1.0364	15	金	1100	1.0364	15	水	1100	1.0364	15	土	1069	1.0071
16	水	1100	1.0364	16	土	1069	1.0071	16	木	1100	1.0364	16	日	1010	0.9516
17	木	1100	1.0364	17	日	1010	0.9516	17	金	1100	1.0364	17	月	1077	1.0147
18	金	1100	1.0364	18	月	1077	1.0147	18	土	1069	1.0071	18	火	1100	1.0364
19	土	1069	1.0071	19	火	1100	1.0364	19	日	1010	0.9516	19	水	1100	1.0364
20	日	1010	0.9516	20	水	1100	1.0364	20	月	1077	1.0147	20	木	1100	1.0364
21	月	986	0.9290	21	木	1100	1.0364	21	火	1046	0.9855	21	金	1100	1.0364
22	火	1053	0.9921	22	金	1100	1.0364	22	水	1113	1.0486	22	土	1069	1.0071
23	水	1076	1.0137	23	土	1069	1.0071	23	木	1136	1.0703	23	日	1010	0.9516
24	木	1099	1.0354	24	日	1010	0.9516	24	金	1100	1.0364	24	月	1077	1.0147
25	金	1100	1.0364	25	月	1077	1.0147	25	土	1069	1.0071	25	火	1100	1.0364
26	土	1069	1.0071	26	火	1100	1.0364	26	日	1010	0.9516	26	水	1100	1.0364
27	日	1010	0.9516	27	水	1100	1.0364	27	月	1077	1.0147	27	木	1100	1.0364
28	月	1077	1.0147	28	木	1100	1.0364	28	火	1100	1.0364	28	金	1100	1.0364
29	火	1100	1.0364	29	金	1069	1.0071	29	水	1100	1.0364	29	土	1069	1.0071
30	水	1100	1.0364	30	土	1010	0.9516	30	木	1100	1.0364	30	日	1010	0.9516
31	木	1100	1.0364	31				31	金	1100	1.0364	31			
計		33,361	31.4308	計		32,303	30.4340	計		33,519	31.5796	計		32,303	30.4340

Ⅲ. 結果

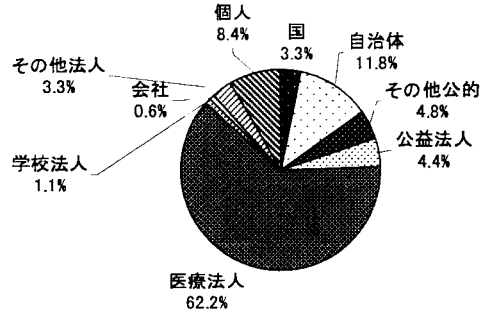
1. 調査対象病院の属性

(1) 開設主体

開設主体別病院割合 (n=1,601)

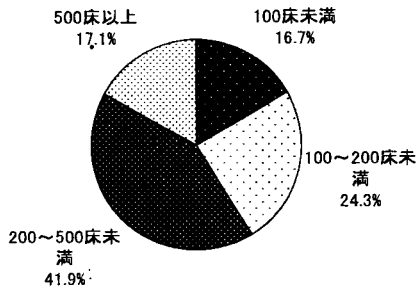


参考: 全国の開設主体別病院割合 (n=9,077)
 ※出典: 平成16年度医療施設調査

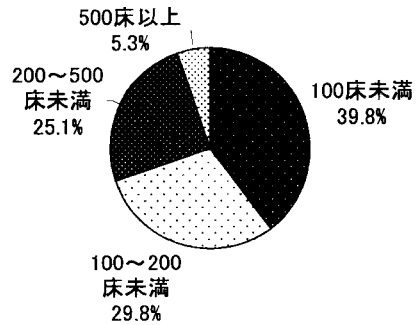


(2) 病床規模

病床規模別病院割合 (n=1,601)

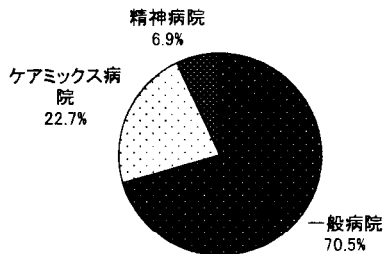


参考: 全国の病床規模別病院割合 (n=9,077)
 ※出典: 平成16年度医療施設調査

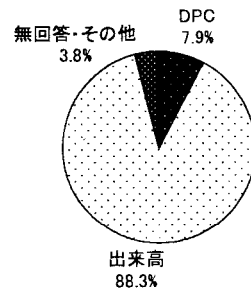


(3) 病院の種類・請求方法

病院の種類 (n=1,601)



請求方法 (n=1,601)



2. 病院全体の収入変動について

今回、診療報酬改定の影響度を検討するにあたっては、月間収入全体の値の変動に着目し、次の2つの視点からの比較を実施した。

図表 5 分析の視点

視点	内容
改定前後の月次影響度把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ H18年3月とH18年4月の変動把握 ・ H17.3とH17.4(前年同時期の月次変動)の比較を考慮する
前年同月と比較した改定影響度把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ H17年4月とH18年4月の変動把握 ・ H17.3とH18.3(経年的変動)の比較を考慮する

(1) 外来収入

下記は外来収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた1,538件についての補正前の集計値である。

図表 6 外来収入集計

	外来収入 件数 H17.3(件)	外来収入 件数 H17.4(件)	外来収入 件数 H18.3(件)	外来収入 件数 H18.4(件)
度数	1538	1538	1538	1538
平均値	8,112.3	7,523.6	7,763.9	7,200.4
中央値	4,881.0	4,601.0	4,605.0	4,250.5

外来収入 延日数 H17.3 (日)	外来収入 延日数 H17.4 (日)	外来収入 延日数 H18.3 (日)	外来収入 延日数 H18.4 (日)
1538	1538	1538	1538
12,796.7	11,570.2	12,073.8	10,819.2
8,713.0	8,015.0	8,154.5	7,342.5

	外来収入 月間収入 H17.3(千円)	外来収入 月間収入 H17.4(千円)	外来収入 月間収入 H18.3(千円)	外来収入 月間収入 H18.4(千円)
度数	1538	1538	1538	1538
平均値	124,244.0	113,672.5	125,265.3	109,395.7
中央値	76,248.0	69,608.5	73,725.0	66,014.5

外来収入 1人1日 当H17.3 (円)	外来収入 1人1日 当H17.4 (円)	外来収入 1人1日 当H18.3 (円)	外来収入 1人1日 当H18.4 (円)
1538	1538	1538	1538
9,123.4	9,245.6	9,639.1	9,407.6
8,452.0	8,513.0	8,917.0	8,727.5

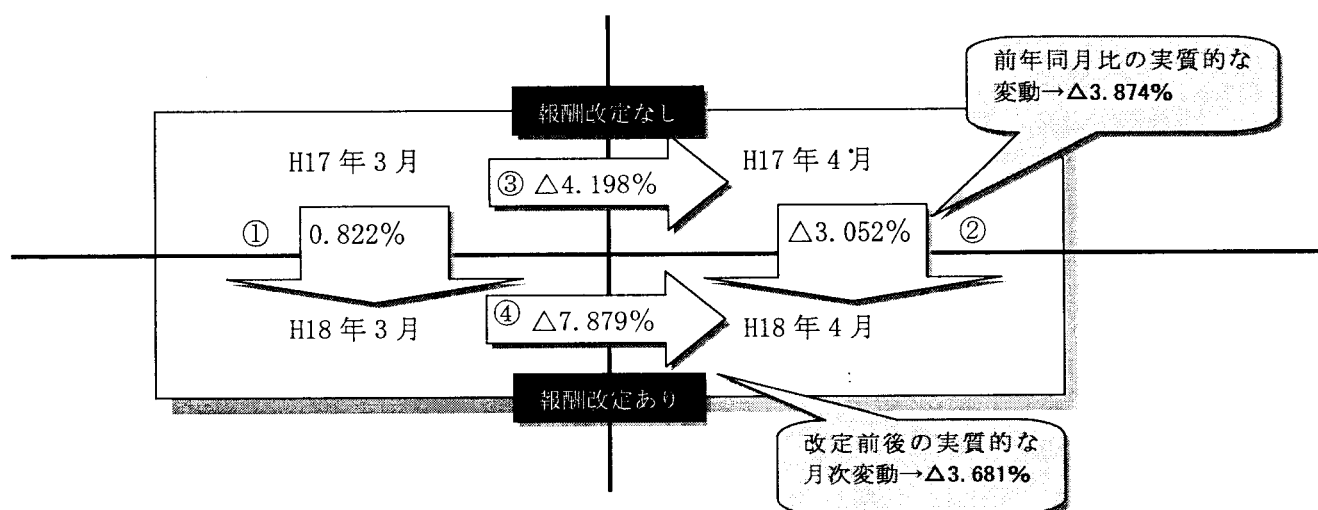
補正後の平均値（月間収入）は以下の通りである。

図表 7 外来収入（月間収入）の補正後の平均値

	H17. 3	H17. 4	H18. 3	H18. 4
補正後平均値	(A) 124, 244. 0	(B) 119, 028. 8	(C) 125, 265. 3	(D) 115, 396. 2

これより、月間収入の平均値について、①H17. 3→H18. 3、②H17. 4→H18. 4、③H17. 3→H17. 4、④H18. 3→H18. 4 それぞれの変動について%を算出し、以下に示した。

①H17. 3→H18. 3 の変化	$1 - (C) / (A)$	0. 822%の増
②H17. 4→H18. 4 の変化	$1 - (D) / (B)$	3. 052%の減
③H17. 3→H17. 4 の変化	$1 - (B) / (A)$	4. 198%の減
④H18. 3→H18. 4 の変化	$1 - (D) / (C)$	7. 879%の減



H17年3月とH18年3月を比較すると、経年的な変動が+0.822%あるために、H17年4月とH18年4月を比較すると $\Delta 3.052\% - 0.822\% = \Delta 3.874\%$ となり、自然変動を除いた改定による変動分が $\Delta 3.874\%$ 生じると考えられる。さらに、H17年3月と4月、H18年3月と4月の変動を比較すると、改定の影響がないH17年の場合には $\Delta 4.198\%$ の変動がある。これを自然な月次変化とみなすと、 $\Delta 7.879\% - \Delta 4.198\% = \Delta 3.681\%$ の改定の影響が生じると考えられる。

(2) 入院収入（一般病床）

下記は一般病床の入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた970件についての補正前の集計値である。

図表 8 入院収入集計一覧（一般病床）

	入院収入 (一般) 件数 H17.3(件)	入院収入 (一般) 件数 H17.4(件)	入院収入 (一般) 件数 H18.3(件)	入院収入 (一般) 件数 H18.4(件)	入院収入 (一般) 延日数 H17.3 (日)	入院収入 (一般) 延日数 H17.4 (日)	入院収入 (一般) 延日数 H18.3 (日)	入院収入 (一般) 延日数 H18.4 (日)
度数	970	970	970	970	970	970	970	970
平均値	671.0	628.2	655.4	616.3	7,810.1	7,309.4	7,541.4	7,109.3
中央値	464.5	437.5	445.0	420.5	6,002.5	5,643.5	5,725.0	5,366.5

	入院収入 (一般) 月間収入 H17.3(千円)	入院収入 (一般) 月間収入 H17.4(千円)	入院収入 (一般) 月間収入 H18.3(千円)	入院収入 (一般) 月間収入 H18.4(千円)	入院収入 (一般) 1人1日 当 H17.3 (円)	入院収入 (一般) 1人1日 当 H17.4 (円)	入院収入 (一般) 1人1日 当 H18.3 (円)	入院収入 (一般) 1人1日 当 H18.4 (円)
度数	970	970	970	970	970	970	970	970
平均値	311,160.1	287,694.9	308,055.7	279,993.1	34,535.6	34,175.1	35,108.6	33,904.9
中央値	193,240.0	180,787.5	193,090.0	173,938.0	33,227.0	32,822.0	33,758.0	32,515.5

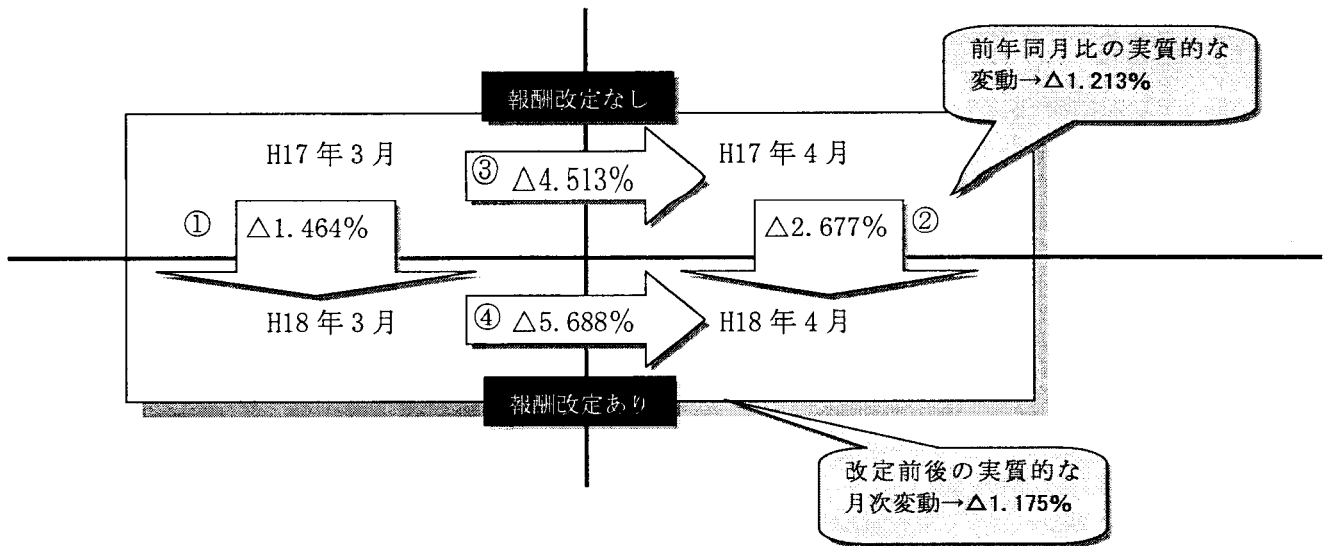
前述の補正係数を用いて、月間収入平均値を補正すると以下の通り。

図表 9 入院月間収入（一般病床）の補正後の平均値

	H17.3	H17.4	H18.3	H18.4
補正後平均値（千円）	(A) 311,160.1	(B) 297,117.8	(C) 306,604.2	(D) 289,163.7

これより、月間収入の平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	1.464%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	2.677%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.513%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	5.688%の減



H17年3月とH18年3月を比較すると、経年的な変動が $\Delta 1.464\%$ あるために、H17年4月とH18年4月を比較すると $\Delta 2.677\% - \Delta 1.464\% = \Delta 1.213\%$ となり、自然変動を除いた改定による変動分が $\Delta 1.213\%$ 生じると考えられる。さらに、H17年3月と4月、H18年3月と4月の変動を比較すると、改定の影響がないH17年の場合にも $\Delta 4.513\%$ の変動がある。これを自然な月次変化とみなすと、 $\Delta 5.688\% - \Delta 4.513\% = \Delta 1.175\%$ の改定の影響が生じると考えられる。

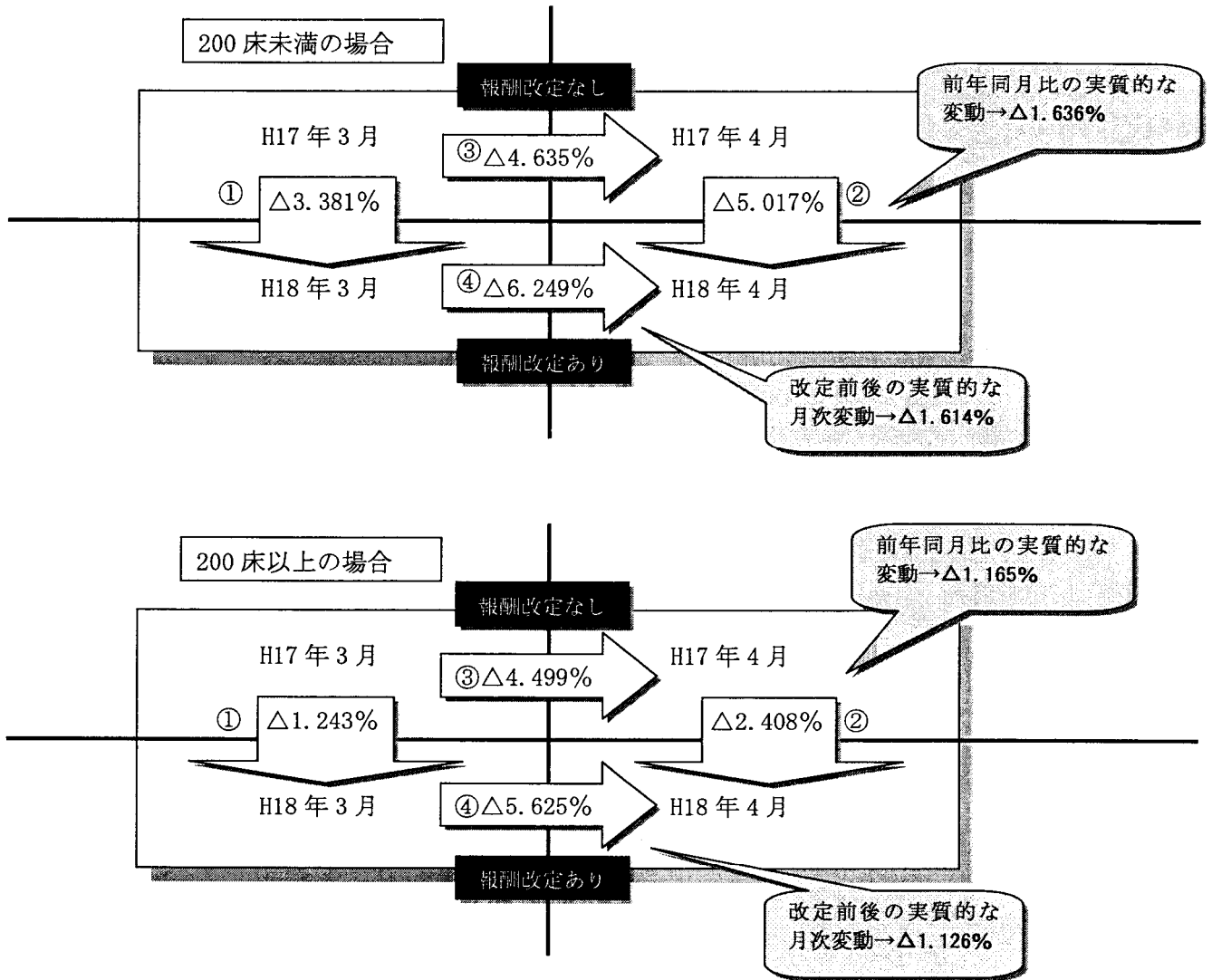
さらに、200床未満/200床以上に区分して変動をみると、入院月間収入の平均は下記の通りであった。

図表 10 入院月間収入（一般病床）の補正後の病床規模別平均値

		H17.3	H17.4	H18.3	H18.4
200床未満 (n=388)	補正後平均値 (千円)	(A) 80,448.9	(B) 76,720.3	(C) 77,728.8	(D) 72,871.6
200床以上 (n=582)	補正後平均値 (千円)	(A) 464,967.6	(B) 444,049.4	(C) 459,187.8	(D) 433,358.5

		200床未満	200床以上
①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	3.381%の減	1.243%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	5.017%の減	2.408%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.635%の減	4.499%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	6.249%の減	5.625%の減

これより、200床未満の病院では、H17年4月とH18年4月の変動は、経年変化を除くと $\Delta 5.017\% - \Delta 3.381\% = \Delta 1.636\%$ であるのに対し、200床以上の病院では $\Delta 2.408\% - \Delta 1.243\% = \Delta 1.165\%$ であった。また、H18年3月とH18年4月の変化についても、200床未満の病院では $\Delta 6.249\% - \Delta 4.635\% = \Delta 1.614\%$ であるのに対し、200床以上の病院では $\Delta 5.625\% - \Delta 4.499\% = \Delta 1.126\%$ であった。



開設主体別にみると、下記の通りであった。国（厚労省、国立病院機構、国立大学法人等）、その他公的（日赤、済生会等）、医療法人等で収入の下げ幅が大きい。ただし、学校法人においては、改定後も増収となっている。

※ ただし、公益法人、会社立、その他法人、および個人病院は対象数が少ないため、掲載していない。

図表 11 開設主体別入院収入変動割合（一般病床）

開設主体	対象数	H17.3 とH18. 3の比較	H17.4 とH18. 4の比較	H17.3 とH17. 4の比較	H18.3 とH18. 4の比較	H17.4と H18.4（前 年同月比） の実質的 な変動	H18.3と H18.4（改 定前後）の 実質的な 変動
国	139	0.245	-2.375	-4.421	-6.920	-2.620	-2.498
自治体	310	-3.392	-3.657	-6.036	-6.294	-0.265	-0.258
その他公的	156	-1.061	-2.697	-3.671	-5.263	-1.635	-1.592
医療法人	226	-0.875	-2.568	-2.706	-4.368	-1.693	-1.662
学校法人	61	-0.822	-1.905	-4.104	-5.151	-1.083	-1.047

診療報酬請求方法別にみると、下記の通りであった。DPCを導入している病院の方が、出来高病院よりも影響度が少ない。

図表 12 開設主体別入院収入変動割合（一般病床）

開設主体	対象数	H17.3 とH18. 3の比較	H17.4 とH18. 4の比較	H17.3 とH17. 4の比較	H18.3 とH18. 4の比較	H17.4と H18.4（前 年同月比） の実質的 な変動	H18.3と H18.4（改 定前後）の 実質的な 変動
DPC	95	-0.850	-1.772	-4.856	-5.741	-0.922	-0.885
出来高	846	-1.705	-3.074	-4.309	-5.641	-1.369	-1.332

(3) 入院収入（精神病床）

精神病床を対象として、同様の検討を行った。下記は精神病床の入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた 207 件についての補正前の集計値である。

図表 13 入院収入集計一覧（一般病床）

	入院収入 精神 件数 H17.3 (件)	入院収入 精神 件数 H17.4 (件)	入院収入 精神 件数 H18.3 (件)	入院収入 精神 件数 H18.4 (件)	入院収入 精神 延日数 H17.3 (日)	入院収入 精神 延日数 H17.4 (日)	入院収入 精神 延日数 H18.3 (日)	入院収入 精神 延日数 H18.4 (日)
度数	207	207	207	207	207	207	207	207
平均値	173.9	171.2	170.8	166.0	4,624.4	4,409.8	4,486.8	4,268.7
中央値	125.0	125.0	127.0	126.0	3,122.0	3,239.0	3,520.0	3,106.0
標準偏差	132.5	130.0	128.0	126.7	3,803.2	3,623.1	3,684.3	3,557.6

	入院収入 精神 月間収入 H17.3 (千 円)	入院収入 精神 月間収入 H17.4 (千 円)	入院収入 精神 月間収入 H18.3 (千 円)	入院収入 精神 月間収入 H18.4 (千 円)	入院収入 精神 1人1日 当 H17.3 (円)	入院収入 精神 1人1日 当 H17.4 (円)	入院収入 精神 1人1日 当 H18.3 (円)	入院収入 精神 1人1日 当 H18.4 (円)
度数	207	207	207	207	207	207	207	207
平均値	63,732.3	60,747.9	63,040.4	58,842.9	14,895.9	14,878.2	15,170.4	14,970.6
中央値	43,459.0	40,017.0	44,481.0	40,412.0	14,219.0	14,272.0	14,729.0	14,395.0
標準偏差	52,155.6	49,617.1	51,376.0	48,593.0	3,839.7	3,842.2	4,142.2	4,089.0

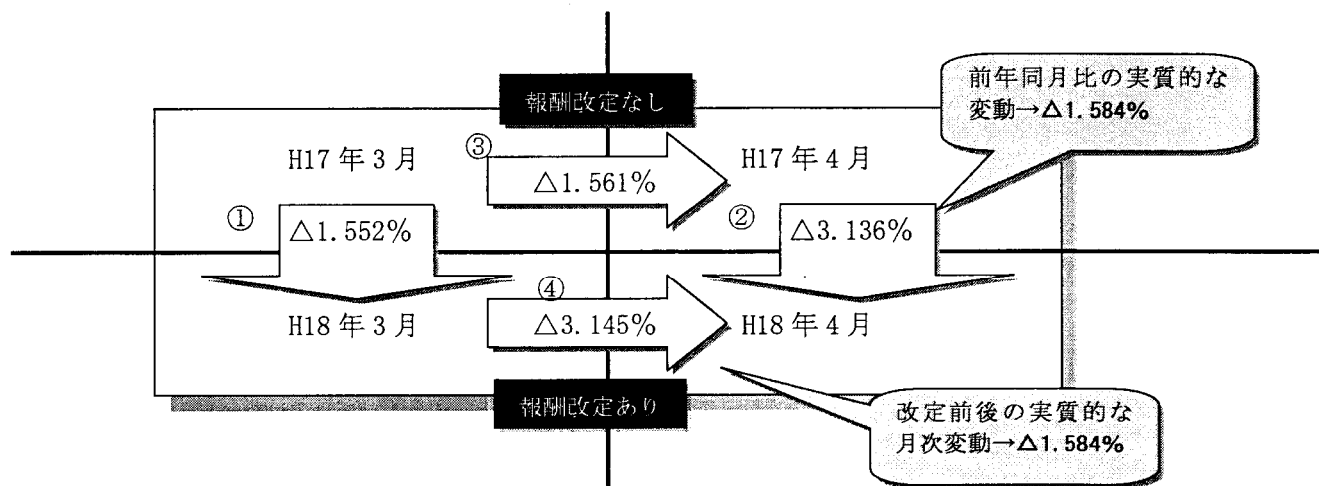
前述の補正係数を用いて、月間収入平均値を補正すると以下の通り。

図表 14 入院月間収入（精神病床）の補正後の平均値

	H17.3	H17.4	H18.3	H18.4
補正後平均値（千円）	(A) 63,732.3	(B) 62,737.6	(C) 62,743.4	(D) 60,770.2

これより、月間収入の平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4 それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	1.552%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	3.136%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	1.561%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	3.145%の減



H17年3月とH18年3月を比較すると、経年的な変動が $\Delta 1.552\%$ あるために、H17年4月とH18年4月を比較すると $\Delta 3.136 - \Delta 1.552 = \Delta 1.584\%$ となり、自然変動を除いた改定による変動分が $\Delta 1.584\%$ 生じると考えられる。さらに、H17年3月と4月、H18年3月と4月の変動を比較すると、改定の影響がないH17年の場合にも $\Delta 1.561\%$ の変動がある。これを自然な月次変化とみなすと、 $\Delta 3.145 - \Delta 1.561 = \Delta 1.584\%$ の改定の影響が生じると考えられる。

(4) 全体の変動（外来・入院収入合計：一般病床）

一般病床の外来収入および入院収入のデータのうち、件数、延日数、月間収入、一人一日当たり収入の値がすべて備わっていた 949 件について、病院収入全体の変動を把握した。

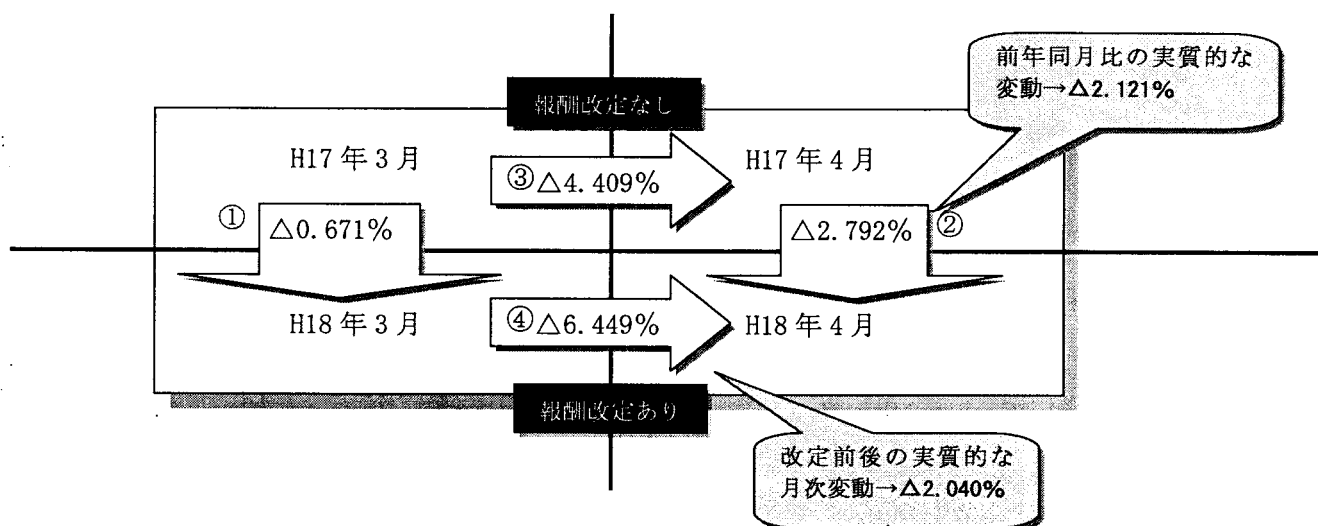
全体合計額の平均値（補正済み）は以下の通り。

図表 15 補正済み月間収入（外来+入院：一般病床）集計値

	月間収入（全体） H17.3	月間収入（全体） H17.4	月間収入（全体） H18.3	月間収入（全体） H18.4
度数	949	949	949	949
平均値	(A) 451,564.9	(B) 431,657.3	(C) 448,533.2	(D) 419,606.6
中央値	297,934.0	282,861.5	290,326.1	267,586.9
標準偏差	462,726.0	443,818.0	469,594.5	440,194.8

これより、月間収入の平均値について、①H17.3→H18.3、②H17.4→H18.4、③H17.3→H17.4、④H18.3→H18.4 それぞれの変動について%を算出した。

①H17.3→H18.3の変化	$1 - (C) / (A)$	0.671%の減
②H17.4→H18.4	$1 - (D) / (B)$	2.792%の減
③H17.3→H17.4	$1 - (B) / (A)$	4.409%の減
④H18.3→H18.4	$1 - (D) / (C)$	6.449%の減



さらに、200 床未満/200 床以上に区分して変動をみると、入院月間収入の平均は以下の通りであった。